

巻頭言

ごあいさつ

本年度まで、床矯正研究会を約20年にわたり主幹として頑張ってきました。しかし、床矯正研究会はあくまでも個人的なサークルです。

今後の床矯正の発展と皆様の将来を考え、一般社団法人日本床矯正研究会を設立し、社会的に確立された学会となりました。やがて公益社団法人となれば、日本の歯科会での地位も強固に確立されるものと思われま。個人から発生した床矯正研究会の未来がさらに広がる可能性があります。

鈴木が地元で開業して40年が経過します。当然患者さんからの矯正の依頼が多々ありました。矯正治療を矯正専門医に依頼すると、多くの症例は小臼歯抜歯が必要となります。その当時、この程度の叢生で抜歯が必要なのかとの疑問を持ちました。多くの開業医も同じ考えをお持ちだと思います。しかし、鈴木は専門は保存修復学です。保存の立場から、健康な歯の抜去は気が引けました。また、鈴木は大学の非常勤講師として実習を半日受け持っていました。歯科医院は1日休診にしていますから、時間があります。その時間を使い、図書館でいろいろな欧州の矯正治療法を学び、30年ほど前に自分なりの矯正治療として床矯正を勉強しました。自分の診療室で技工士と試行錯誤で床矯正装置を考え、患者さんにその床矯正装置で治療を行い、床矯正治療が確立した矯正方法と確信しました。

床矯正研究会を設立の経緯

20年前にGCからGCサークルの執筆依頼があり、床矯正の治療法を2回にわたり出筆しました。その後、GCから床矯正の講演依頼があり、全国各地で100回ほど講演をしました。その際、講演を受講した先生からの要望もあり、20年前に床矯正研究会のサークルを設立しました。あくまで個人的サークルと考えていましたが、一般書籍では「抜かない歯医者さんの矯正の話」を出版した結果か、「床矯正」という矯正治療が広く社会に広がりました。

生理学、機能の重要性

初期の不正咬合は、深い知識がなくても早期に治療を開始することで対応可能です。不正咬合は混合歯列期以前の症例であれば比較的簡単に床矯正を用いた治療で対応できます。これは、正しい

機能があれば正しい形態を維持することを意味します。不正咬合を放置することで状態は刻々と悪化するため、早期の対応が重要となります。患者様は歯(歯冠)を見ているが、歯冠は歯根と一体であり、歯根は歯根膜に丁植されています。矯正は歯冠を直すだけで無く、歯根膜に正しい機能を与え、咀嚼をコントロールすることが一番大切と考えています。また、ノーベル賞の中にノーベル医学賞は有りません。ノーベル生理学・医学賞は存在します。つまり、人を治療する学問は生理学が基本となります。東京医科歯科大学の故三浦不二夫名誉教授は矯正治療には「咬合の育成」と「不正咬合治療」の2つの側面があるとおっしゃっています。この生理学を基本とする治療の考え方は床矯正研究会が求めているものと同じです。

「なぜ？」を考える

歯科医は病気・疾患を治療することよりも、なぜ、不正咬合が発症したかを考えるべきです。発症原因とその時期が解明されれば、年齢に応じた対処法が明確になります。咀嚼は歯槽骨を育成し、表情筋を活性化させ、顔貌を変えます。不正咬合の治療対象は歯列だけではありません。保護者に顔貌の改善も可能であることを伝えるべきです。

床矯正治療で良い結果が得られない症例があります。15年前に口輪筋と舌の不調和がある症例を花田先生と話し、原因として「舌があげられている」という結論に達しました。そこで、舌や口輪筋に関するいろいろな医療器具を考案し、特許申請をしてきました。これらの医療器具が不正咬合の主因である口腔機能発達不全症を改善し、不正咬合の治療のみならず、顔貌の改善に一助するものと考えます。

これから

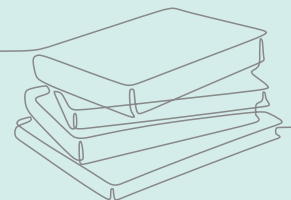
来年度は、保護者が早期に口腔機能をコントロールすれば不正咬合は改善できるという内容の本を出版する予定です。この本を一般社団法人日本床矯正研究会の会費から捻出しようと考えています。床矯正は不正咬合治療にとって有効な治療法と考えますが、診断と治療開始時期の判断を間違えると大変苦勞します。この課題は今後、一般社団法人日本床矯正研究会が明確にしていくとおもいます。



鈴木 設矢
会長

SETSUYA SUZUKI

- 1974年 日本歯科大学歯学部卒業
- 1978年 日本歯科大学大学院 保存学修了
- 1979年 東京都中野区開業
- 1981年 日本歯科大学保存学教室 非常勤講師
- 1996年 ICD国際歯科学士会フェロー
- 1997年 日本歯科大学歯周病学教室非常勤講師
- 2000年 床矯正研究会設立
- 2001年 日本歯科用Nd:YAGレーザー学会理事
- 2016年 ICD国際歯科学士会 副会長就任



理事長挨拶

ごあいさつ

これまで床矯正研究会に副主幹を務めさせていただいておりましたが、2020年2月の一般社団法人日本床矯正研究会設立に伴い、理事長に就任いたしました。そして、鈴木設矢先生には会長に就任していただきました。研究会のさらなる発展に尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひします。一般社団法人日本床矯正研究会の英語表記はJapan Society for Removable Orthodontics(略称JSRO)となります。

床矯正との出会いとこれから

床矯正研究会との出会いは約20年前です。鈴木設矢先生のセミナーを受け、とても感動し自分が行いたい治療であることを確信しました。今でもその時の感動を鮮明に覚えています。当時の鈴木先生のセミナーはGC主催で行われており、そのテーマには床矯正という言葉はなく、「安定した機能を求めて」という題だったと記憶しています。まさに現在の口腔機能発達不全症に通ずるもので、20年も前から鈴木先生が提唱してこられたことは本当に凄いと感じています。床矯正研究会ができた当初は、「床矯正」という言葉は世の中に知られておらず、「小矯正(MTM)」と勘違いされることもありましたが、床矯正研究会の長年の活動により、日本の歯科界に一大ブームを巻き起こし、「床矯正」という言葉も世の中に認知されるようになりました。これからは、鈴木先生が常日頃言われてきた「床矯正を文化にする」という言葉どおりに、床矯正が早期矯正治療の定番となることを目指します。さらに、バイオフィUNCTIONALセラピーBFT(生物学的機能療法)により、矯正治療が必要ない子供たちを育てていきたいと考えています。

今後の活動

一般社団法人床矯正研究会設立とともに、全国を6つの地区に分け、それぞれの地区から理事、評議員を選出し、就任していただきました。今後の研究会の運営は理事、監事、評議員が中心となって行っていきます。法人化以前はオーラルアカデミーが事務局の役割を担ってきましたが、新たに日本床矯正研究会事務局を設置しました。今後は日本床矯正研究会事務局が会員の窓口となります。鈴木歯科医院閉院に伴い、歯科医院は「はる歯科」が、技工部は「TAKA株式会社」が引き継いでいます。

現在新型コロナウイルス感染拡大の影響で、セミナーの開催が中断しておりますが、今まで行ってきた各種セミナー、講演会は従来を踏襲して開催しながら、より充実したものにしていきたいと考えています。来年5月23日(日)には東京で第一回学術大会・総会を開催する予定です。床矯正研究会はこれまで主に開業医の先生向けに活動し、学会発表などは行ってきませんでした。床矯正に関する学会発表や論文はヨーロッパにおいては古くからあるものの、日本ではほとんどありません。今後は学会に床矯正治療を発信していく必要があると考え、有志を募り、2年前から日本小児歯科学会大会での発表を行い始めました。今後も日本小児歯科学会を中心に学会発表を行っていく予定です。

最後に

床矯正研究会との出会いは、まさに鈴木設矢先生との出会いであり、多大なるご恩を受けてきました。歯科医師としての今の私があるのも、はなだ歯科クリニックがあるのも、床矯正研究会、鈴木設矢先生のおかげといっても過言ではありません。その恩返しをこれからの私の人生をかけてやっていきたいと思っています。



SHINYA HANADA

- 1995年 広島大学歯学部卒業
- 1995年 藤田歯科クリニック勤務
- 2000年 はなだ歯科クリニック開設
- 2003年 医療法人はなだ歯科クリニック
理事長就任
- 2005年 床矯正研究会九州支部
事務局長就任
- 2014年 床矯正研究会副主幹就任
- 2020年 一般社団法人
日本床矯正研究会
代表理事就任

日本床矯正研究会理事長・指導医
国際歯周内科学研究会監事・指導医
ICOI国際インプラント学会指導医
歯科医師臨床研修医指導医
ICD国際歯科学士会フェロー

花田真也
理事長



理事評議員名簿

床矯正研究会役員

	理事	評議員		監事
北海道・東北	鈴木淳一	島貫光裕	吉田英子	辻村育郎
関東	田中康雅	奥平晴子	大谷泰治	
中部	米崎美桜	竹内勝泉	井上博	
関西	杉岡真一	榊田康宏	畑崎清孝	
中四国	藤井秀紀	前川光太郎	中田貴康	
九州	花田真也	横田成一	数野英文	

理事紹介

日本床矯正研究会の皆さん、こんにちは！

盟友である花田理事長より名誉ある副理事長兼中四国担当理事を拝命した医療法人しんくら歯科医院の藤井秀紀です。

この度の床矯正研究会の法人化には床矯正の発案とその進化・発展に長年ご尽力された創設者の鈴木設矢先生、並びに鈴木先生をサポートし、床矯正メソッドの標準化に力を発揮された花田真也先生の「床矯正を文化にしたい！」という熱い想いが込められています。それが着々と実を結んでいることが嬉しくてなりません。

鈴木先生との出会いは20年くらい前、まだ床矯正研究会も発足前、GC主催のセミナーでした。その内容は画期的で、矯正ど素人の駆け出し開業医にも「これならやれるのでは！」と思わせるものでした。そこから鈴木先生との付き合いが始まります。症例数も数千以上はあるのですが数えていません。昨年医療情報研究所から出さされていたDVD「4か月先まで予約が埋まる歯科医院」でも医院躍進の2大柱の一つとして床矯正をあげさせていただきました。床矯正との出会いに感謝！です。

先日開業以来23年間の医院から700mくらいの場所に移転しました。チェア20台、スタッフ常勤30人の大所帯です。借金増えたり仕事が好きなのでまだまだ引退するつもりはないのですが、眼も見えない、物忘れがひどいなど老化現象が激しく、この人覚えられないんだーの前提で暖かい目で見ていただけると幸いです。

よろしくお願いたします。



副理事長
中四国地区理事

藤井秀紀

HIDENORI FUJII

1992年 岡山大学卒業
1992年 岡山大学歯学部付属病院勤務
1994年 香川労災病院歯科勤務
1995年 積善会新居浜十全総合病院歯科勤務
1997年 しんくら歯科医院開業

日本床矯正研究会副理事長・指導医
日本口腔外科学会
日本小児歯科学会
日本口腔インプラント学会
CHP研究会(副代表 2008-2011年)
日本臨床歯周病学会
日本歯周病学会
日本顕微鏡歯科学会
JIPI (Japanese Institute of Periodontology & Implantology)
福岡SJCD (Society of Japan Clinical Dentistry)

理事紹介

北海道東北地区理事

北海道札幌市・すずき歯科クリニック

北海道東北地区理事の鈴木淳一です。札幌市南区で予防歯科と床矯正を軸として診療しています。「悪くなってから治す」ではなく、「悪くならないようにする」「いい顔を作る」という床矯正の考え方が好きです。皆さん、よろしくお祈いします。

鈴木淳一

JUNICHI SUZUKI



関東地区理事

東京都小金井市・貫井北町歯科医院

東京都小金井市で30年、約8000症例になりました。鈴木設矢先生の目指した床矯正は単なるテクニックではなく顔面の正しい成長を促し子どもの健康と幸せに寄与するものです。床矯正研究会の本質をお伝えし、その活動に微力ながらお手伝いさせていただければと思っています。

田中康雅

YASUMASA TANAKA



中部地区理事

愛知県豊田市・若林歯科

愛知県豊田市・若林歯科の米崎美桜です。研究会では矯正治療に限らず、患者コミュニケーションや医院経営も学ばせて頂きました。何よりも全国の志高い仲間との出会えた事に感謝しております。床矯正無くして今の当院はありません。会に恩返しできるよう、微力ながら尽力いたします。

米崎美桜

MIO YONEZAKI



関西地区理事

京都府福知山市・杉岡歯科医院

関西地区理事の、京都府福知山市の杉岡真一です。鈴木歯科を見学させて頂き、そして花田先生のフォローアップコースに初回から参加、12年間床矯正の魅力に取りつかれて夢中に勉強してきました。今の医院があるのは床矯正のおかげと感謝しております。よろしくお祈い致します。

杉岡真一

SHINICHI SUGIOKA



監事

神奈川県横浜市・辻村清和デンタルクリニック

このたび「日本床矯正研究会」の発足に際し、監事の職を拝命いたしました横浜市の辻村育郎です。このような要職が私に務まるかどうか不安な気持ちで一杯ですが、皆様のお力添えを賜わりながら自分なりに精一杯頑張る所存であります。何卒よろしくお祈いいたします。

辻村育郎

IKUO TSUJIMURA



評議員紹介

北海道東北地区評議員



島貫光裕

MITSUHIRO SHIMANUKI

北海道札幌市
シリウス山の手歯科

北海道・東北地区評議員、札幌市で開業している島貫光裕です。抜歯することなく治療できる床矯正に大きな期待を持ち、文化として地域に広げていく使命を果たしていきたいです。よろしくお願いいたします。



吉田英子

EIKO YOSHIDA

宮城県仙台市
エイコデンタルケア

宮城県仙台市のエイコデンタルケア吉田英子です。床矯正スタンダードコースを7期から受講し日々勉強中です。床矯正は乳幼児からの成長や発達の学びも多くとても勉強になっております。皆様よろしくお願いいたします。

関東地区評議員



奥平晴子

HARUKO OKUDAIRA

東京都中野区
はる歯科

東京都の奥平晴子です。父・鈴木設矢が「親が歯並びおかしいと言っているのに開業医が何もできないなんて」が床矯正の動因だとか。子供達を笑顔にする会、日本床矯正研究会が発展しますように。よろしくお願いいたします。



大谷泰治

YASUHARU OTANI

埼玉県さいたま市
大谷歯科クリニック

鈴木先生が育てた床矯正研究会を「日本」の冠を戴き日本床矯正研究会となり、花田先生が大きく飛躍させていく未来図を予想すると高揚感が抑えられません。自分も微力ながら尽力させていただく所存です。皆様、よろしくお願いいたします。

中部地区評議員



竹内勝泉

KATSUMOTO TAKEUCHI

長野県佐久市
竹内歯科医院

長野県佐久市の竹内勝泉です。床矯正に取り組んで11年！花田先生の「床矯正を文化に！」に共感しました。微力ではありますが日本床矯正研究会の発展に尽力して参りたいと思います。



井上 博

HIROSHI INOUE

三重県四日市市
歯科診療所ひまわり

皆さんで協力して日本中にもっともっと床矯正を広めていきましょう。誰もが床矯正を知っていて、必要な人に最適なタイミングで選んでもらえるように。そして、やって良かったと思われるように一緒に頑張りましょう。

評議員紹介

関西地区評議員



畑崎清孝

KIYOTAKA HATAZAKI

大阪府堺市
畑崎歯科医院 副院長

平成6年に広島大学を卒業し、現在、大阪府堺市で勤務しています。床矯正治療・生物学的機能療法を始めて約16年、まだまだ分からない事は沢山あります。「床矯正を文化に!」を目指して、日々取り組んでいます。よろしく願い致します。



栴田康宏

YASUHIRO MASUDA

大阪府堺市
ますだ歯科

鈴木歯科とはなだ歯科クリニックに見学に行かせて頂くようになって早10年、我が地域では床矯正という文化が根付き、健康でしっかりとした発育が促されるようになってきたと実感しております。さらに皆さんと高め合い、良い組織になれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

中四国地区評議員



中田貴康

TAKAYASU NAKADA

鳥取県米子市
中田歯科医院

鳥取県米子市の中田です。模型相談、症例検討会でお世話になった鈴木先生が培って来られた研究会が法人化され更に飛躍する今後が楽しみです。微力ですが貢献できるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



前川光太郎

KOTARO MAEKAWA

山口県山口市
MKデンタルオフィス

中四国地区評議員、山口市開業の前川光太郎と申します。

鈴木先生が種を撒き、花田先生が育てられた床矯正との出会いで、子供達の健口の育みを学びました。さらなる発展普及のため、お手伝いできればと思います。

九州地区評議員



横田成一

SEIICHI YOKOTA

福岡県福岡市
よこた歯科医院

九州地区の評議員となりました、福岡市の横田成一です。

床矯正との出会いは、約14年前に学際企画のベーシックを受講したことです。

花田先生のセミナーでは、懇親会実行委員長としてお手伝いをさせて頂いています。よろしくお願いいたします。



数野英文

HIDEFUMI KAZUNO

大分県大分市
かずの歯科小児歯科

大分県大分市の数野英文と申します。子どもたちの笑顔を見たくて、あれこれと日々精進しております。新米評議員として「床矯正を文化に!」の考えをより多くの先生方へお伝えできるように、全力でお手伝いさせていただきます。

顧問弁護士紹介 無料相談サービスについて

この度、顧問弁護士を拝命いたしました、弁護士宗像 雄です(東京弁護士会所属)。「医療」と「法律」が交差する領域をライフワークとして、専ら医療機関側に立って、業務を行っています。

ご承知のとおり、医療機関における最大のテーマは「医療安全」です。ただ、「医療安全」は「病原」のようなものです。そこから、様々な「症状」が出現します。患者さんとの間のインフォームド・コンセント、患者さんからのクレーム対応、スタッフとの雇用問題…。これらは、どれも「医療安全」に起因する「症状」です。先生方は、これらの「症状」が出現した際に、これに迅速かつ適切に対応しなければなりません。私は、その際のお手伝いをさせていただきます。

元々、私が歯科医療の領域に深く関与するきっかけを与えてくださったのは、我が国における床矯正の「第一人者」であり、床矯正研究会の主宰者でもあった鈴木設矢先生でした。先生には、様々

なことをご教示いただくとともに、この間に何度か会員の皆様に講演をする機会もいただきました。是非とも、先生方の「医療安全」の取組みのお手伝いをさせていただき、先生の大恩にいささかでもお報いをしたい、と考えております。

さて、顧問弁護士に就任するに当たり、花田理事長より、会員の皆様に対する福利厚生の一環として「法律相談サービス」を行いたい、とのご提案をいただきました。私も、二つ返事でお届けいたしました。

私は、これまでご紹介者のいない方については法律相談を受けておりませんでした。が、今後は、会員の皆様に限り、特別に法律相談(ただし、上記の内容を含めて「医療安全」に関連するものに限ります。)をお受けすることとしました。

所定のメールアドレス(ya.law@aioros.ocn.ne.jp)に、ご相談を希望される旨のメールをお送りください。私の方からお電話をさせてい



宗像 雄

YUU MUNAKATA

関谷・宗像法律事務所

たきます。業務の関係で、ご希望の日時にお電話をすることができないかもしれません。あらかじめご了承ください。

ご相談料についても、初回のお電話でのご相談に限り、無料とさせていただきます。書面の作成その他の業務が発生したときは、その都度ご相談をさせていただきます。

TAKA株式会社の運営協力について

TAKA株式会社 代表取締役の鈴木貴規です。私の床矯正との出会いは歯科医師になる前からとなります。私は当時歯学部生でしたが、寝ても起きても床矯正を考えていた父から色々教わりました。そして、私が歯科医師となった年に床矯正研究会が立ち上がり、また本の出版を手伝ったことをよく覚えています。日本で床矯正を8年程度経験した後、13年間渡米してニューヨーク大学歯学部歯周インプラント科で臨床准教授として教鞭と臨床を行っていました。しかし、去年の暮れに日本へ戻りTAKA株式会社を設立しました。この会社は歯科技工を主にしているものの、法人化以前の床矯正研究会を管理していた人材を会社に招き、法人化した一般社団法人日本床矯正研究会をサポートできる体制を整えました。そこで一般社団法人日本床矯正研究会の仮事務所を弊社の中に設置し、迅速な対応ができるようにいたしました。加えて新たな人材とともに、一般社団法人日本床矯正研究会がより一層大きく、歯科医学会の中で確立されるようサポートしていきたいと思っています。



<https://taka.ltd/>



鈴木貴規



TAKANORI SUZUKI

- 2000年 日本歯科大学卒業
- 2007年 日本歯科大学保存学教室にて博士号取得
- 2009年 NYC大学歯学部総合診療科卒業
- 2011年 NYC大学歯学部インプラント科卒業
- 2012年 NYC大学歯学部歯周インプラント科臨床准教授
- 2013年 ICOI(国際口腔インプラント学会)フェロー・ディプロメイト
- 2016年 日本歯科大学歯科補綴学第二講座 非常勤講師
- 2019年 NYC大学歯周インプラント科 准教授
- 2020年 TAKA株式会社代表取締役
- 2020年 ICD国際歯科学士会フェロー
- 2020年 十条共立歯科医院 院長

ホームページリニューアル

【一般社団法人 日本床矯正研究会】 <https://www.jsro.jp>



2001年5月「抜かない歯医者さんの矯正の話」の出版後、床矯正研究会は会員数を伸ばし全国的な組織となりました。大きくなった床矯正研究会は、歯科医師の集まるスタディグループではなく、歯科学の中で床矯正学の分野を学ぼうとする会、つまり学会となりました。同時に個人から法人への移行が余儀なくされ、他の歯科学と並ぶ分野となりつつあります。

以前あった床矯正研究会の良き文化を残しつつ、学会・法人化への変化を成し遂げるためには様々なことを変えていく必要があります。その一つがホームページのリニューアルです。新しいホームページは一般社団法人日本床矯正研究会の会員のみならず、一般の方が見て床矯正を知ってもらえる、また会員以外の歯科医師が見て床矯正に興味を持ちもっと知りたいと思うものであると思います。ホームページは情報を発信する場所です。これからもより良い情報、必要な情報、有益な情報を見やすくリニューアルしたホームページで発信できればと思います。

リニューアルポイントは全体的に新しくなったホームページに加え、新たに新規入会フォームがホームページ内に追加されました。今までの入会申込書は、紙媒体を使い、手書きで記入し、FAXを送信し、事務局ではそれら情報をパソコンに打ち込みました。手書きとFAX送信という煩わしさはパソコンに打ち込むことにより解消され、また事務方においても文字の読み間違いやパソコンの打ち間違いというリスクを回避できます。また更新手続きもより簡便に行えるよう随時アップデートいたします。

会員の皆様に使いやすい、使っていただきたいホームページとしたいので、もし何かご意見等がありましたら「info@jsro.jp」までお知らせください。また、医院名の変更、住所変更等の会員情報の更新が必要な場合は「member@jsro.jp」までお願いいたします。



新しいホームページ



新しい新規入会者フォーム

●ご意見・ご要望

✉ info@jsro.jp

●医院名の変更、住所変更等の会員情報の更新

✉ member@jsro.jp

オーラルアカデミーからのお知らせ 【オーラルアカデミー】 <https://oral-academy.com/>

この度、ホームページを全面リニューアルさせていただきます。今回のリニューアルでは、ご利用いただく皆様により見やすく、わかりやすい製品紹介、セミナー展示、さまざまなコンテンツを充実させ、皆様のお役に立てるような最新情報も積極的に発信して参ります。これまで以上に使いやすいサイトを目指し、内容の充実を図っていきますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。随時アップして参りますので、是非ご覧ください。

HP <https://oral-academy.com/> (リニューアルに伴い、ホームページアドレスを変更しております。)



リットレメーターMedicalの保険適用に関して

令和2年4月の歯科診療報酬の改定にて、口腔機能発達不全症の診断項目である「口唇閉鎖力検査」が新設されました。

〈新設〉小児口唇閉鎖力検査(3ヶ月に1回) 100点

測定器具には松風社製の「りっふるくん」がありますが、当社製品の「リットレメーターMedical」でも保険算定が可能になりました。

今年の3月末に届出がされているので、まだまだ周知がされていないのですが、これを機にぜひ小児の口唇閉鎖力検査にご活用ください。

ソフト2.0Kg、ハード2.5Kgまでの測定が可能ですが、小児への測定の場合は2.0Kgの使用がお勧めです。付属のマウスピースでトレーニングもできるようになっています。

年齢と性別に応じた平均値との比較診断に関しては、下記の通知を参考にご覧ください。

「口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方(令和2年3月日本歯科医学会)」

<https://www.jads.jp/basic/pdf/document-200401-3.pdf>

また、日本歯科医学会が報告している閉鎖力の単位がニュートンとなっています。

リットレメーターMedicalの単位がKgなので、ニュートンに換算してご使用ください。

(1Kg→9.807N・換算表も製品に付属されています。)

ご注文はオーラルアカデミーFAX注文用紙からお願い致します。



★リットレメーターMedical(口唇閉鎖力測定器)★
歯科用口唇筋力固定装置

床矯正装置の技工について

以前、鈴木歯科医院の技工部門で受け持っていた床矯正装置の製作は、鈴木歯科医院の閉院とともに終了いたしました。そこで新たにTAKA株式会社を設立し、一般社団法人日本床矯正研究会会員専用の技工所として、今まで以上の良質な床矯正装置の製作をいたします。以前、会員の先生方全員にブックレットの「お知らせ」を送らせていただきました。そのお知らせの中には、新しい技工指示書、新しいケース、改訂版技工料金表、そして症例を使った技工指示書の記載方法を載せました。少しずつではありますが、多くの会員様が使いやすい、そして信頼できる技工所となるように努めていきます。

床矯正装置を製作する技工部、働いている技工士は床矯正装置製作のベテランが揃っています。また、模型の受け取りから装置の発送まで行う営業部、請求やお知らせを行う経理部ならびに総務部とホームページを管理する情報システム部等で会員の皆様により良いサービスを提供できるよう努めて参りますので何卒よろしくお願いたします。

以前から行われていた鈴木設矢会長による模型相談も、TAKA株式会社で行っています。相談をご希望の会員の先生におかれましては、技工指示書の相談の欄にチェックをお願いいたします。模型相談のお電話は月～土曜日の午前10～12時にこちらからいたします。

詳細ならびにケースの販売等は弊社の
ホームページ <https://taka.ltd> を、
 最新情報は
Instagram [taka_co.ltd](https://www.instagram.com/taka_co.ltd) を
 ご参照ください。
 またご質問等がありましたら
✉ lab@taka.ltd までお知らせください。

TAKA株式会社



TAKA



技工部



営業部



経理・総務・情報システム部



鈴木設矢会長による模型相談

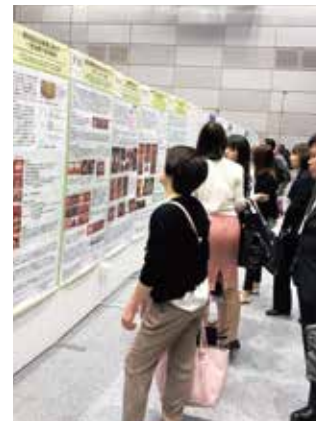
日本小児歯科学会大会での発表報告

中部地区理事 米崎美桜

2019年より花田理事長を中心に会の有志メンバーで、日本小児歯科学会でのポスター発表を行っています。国立モンゴル医学科学大学・岡崎好秀先生にも共同発表者としてお力添えいただいております。

私たちの発表目的は「床矯正治療への誤解を解く」ことです。床矯正治療は一般的に傾斜移動のイメージを持たれている傾向にありますが、会としては装置のみに注力するのではなく、鈴木会長が提唱されたバイオフィUNCTIONALセラピー（以下BFT）を重視し、結果歯体移動で歯列や咬合は改善する、ということを広めていきたいと考えています。また文献として残り検索されることで、床矯正治療が世に正しく理解されることを期待しています。

2019年札幌大会では6名が、食育・BFTをテーマにポスター発表を行いました。BFTについて写真や図を多用した内容に、多くの参加者が興味深そうに見入っていました。質疑応答でも「パナリングはどうやって指導するのか?」「食事の姿勢はどのように伝えよいか?」など活発な質問を受けました。



今年は7名が沖縄大会で発表する予定でしたが、残念ながらコロナの影響で学会は中止、誌上開催となりました。リアルポスターセッションは幻となりましたが、今回もBFTを絡めた発表を多く行いました。私、米崎は「床矯正装置とBFTによる上顎の前方成長」と題し、研究会で使用されている閉鎖型装置が、いかに生体模倣的であることを発表しました。

学会抄録は、小児歯科学会会員は、学会会員専用ページより、会員以外は、J-STAGE（発行から1年以上経過したもの）より閲覧できます。ぜひ研究会会員の成果をご覧ください。そして来年の鹿児島大会と一緒に発表していただける仲間を募集しております。床矯正が世の中にもっと受け入れられ、健全な噛み合わせの良い顔の子供達が増えることを共に目指しましょう。



2019年学会抄録

<https://www.jstage.jst.go.jp/>

小児歯科学会ポスター▶

床矯正装置とバイオフィUNCTIONALセラピー (BFT)による上顎の前方成長

Renovative orthodontic and Biofunctional therapy for maxillary anterior growth
 ◎米崎美桜 福岡県一→中野真紀・西原実紀・花田真也・藤井佳純・橋本由一 岡山府会
 米崎美桜 福岡県一、中野真紀・西原実紀・花田真也・藤井佳純・橋本由一 岡山府会
 米崎美桜 福岡県一、中野真紀・西原実紀・花田真也・藤井佳純・橋本由一 岡山府会

【緒言】
 切歯の成長は、永久前歯の萌出前にほぼ終了するとされており、健全な永久前歯の萌出のためには、乳児期から哺乳・咀嚼・嚥下でアブローキシ、口腔機能を発達させることでV型、△型の口蓋でなく、O型口蓋に育成することが重要である。しかし、臨床では7歳前後の前歯交換期に前歯部歯生を主訴に受診されるケースが多い。上顎骨の発育は6歳までに8割以上を占めることと前歯部の7割を占めること上顎骨の発育は患者の顔貌に大きく影響することを鑑みると、早期での治療介入が大切である。*今回、上顎の前方成長に対し床矯正治療を行うことで良好な経過を得た症例について報告する。

【症例】
 初診時6才10ヶ月の女児。上顎前歯部に歯生があり、低位舌による高口蓋(△型口蓋)(図1)。

【治療方針および経過】
 床矯正装置を用いて側方拡大を行い、拡大後は歯列を整えるために閉鎖型装置を用いた。(図2、3)BFTとして、低位舌に対しては、舌のスポットを意識させ、ポッピング、あいうべ体操により舌位の変位をはかった。咀嚼訓練は、食事時の姿勢、前歯の発育策を指導し、前歯の重要性を指導した。

【結果】
 12才7ヶ月、歯列を整え、正しい舌機能を果たすことで、口蓋の形態はO型に変化した。(図4)

【考察】
 床矯正装置の作用は側方への拡大のみと捉えられがちである。しかし、成長が期待できる時期に閉鎖型装置による緩やかな側方拡大を行い、咬筋運動や舌の訓練などのBFTを行うことで、側方だけでなく、前方への成長も促すことができる。(図5)

【文献】
 1)歯科基礎医学会 松川勲ら・日本矯正歯科学会における口蓋の成長変化について、1988
 2)増田純一・フレイル予防は口であり2017
 3)小児歯科学雑誌 花田真也・床矯正治療に不可欠なバイオフィUNCTIONALセラピー、2019
 4)鈴木俊夫編著・GPのための床矯正・矯正のすすめ、2008

【図1】 初診時△型口蓋 **【図2】** 側方拡大

【図3】 閉鎖型 **【図4】** 終了時O型口蓋

【図5】 上顎骨基部の前方成長

拡大後に用いる閉鎖型装置は、舌側歯根が適正な舌圧を拡大、唇側歯根が口唇圧を適切にコントロールする、まさに「生体模倣的装置」と言える。

舌側歯根は唇 **【図6】** 唇側歯根は唇

成長期にBFTと併せて行う床矯正治療は、生体の機能を阻害せず、歯列を整えながら、正しい発育刺激を与える事で健全な歯列、顎および顔容を育成することができる。

今後の教育研修について

理事長 花田真也

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、6月の床矯正ベーシックコースと今秋の後期症例検討会は残念ながら開催を見送ることになりました。後期症例検討会で鈴木設矢会長が講演予定だった「床矯正・矯正の手引き」の使い方については冊子を作成して配布する予定です。また、オンラインによるセミナーも検討中です。そして、来年2021年5月23日(日)には、東京にて第1回日本床矯正研究会学術大会を開催します。詳細は後日お知らせしますので、ぜひスケジュールを空けておいてください。今後も学術大会は年に一度継続して開催していく予定です。

今後の当研究会の教育研修は従来のセミナーを継承しつつ、より充実したものにしていきたくと思っています。今までに床矯正研究会で講演実績のある鈴木設矢会長、花田真也理事長、奥平晴子評議員、田中幹久先生に加え、藤井秀紀副理事長、田中康雅理事、杉岡真一理事が指導医として教育研修を行います。将来的に認定医制度、認定衛生士制度を作りたいと考えています。

下記が現時点で開催予定のセミナーです。今後、開催が決定したセミナーから逐次ご案内します。



症例検討会

床矯正ベーシックコース (1日)

開催地: 東京・大阪 講師: 花田真也・鈴木設矢

当研究会への入会資格取得セミナーであり、床矯正の全容を学びます。また、研究会の新たな知見をアップデートしてお知らせします。会員にも定期的に受けていただきたいセミナーです。

床矯正スタンダードコース (6ヶ月6日間コース)

開催地: 福岡 講師: 花田真也

ベーシックコースの内容を掘り下げ、実習を交えて、半年間6回で学びます。はなだ歯科クリニックの見学もセミナーに含まれます。当研究会の入会資格を取得できます。来年1月からのコースが募集中です。(案内同封)

会員・医院スタッフ限定セミナー
前期・後期症例検討会

開催地: 東京・大阪・福岡

前期は外来講師を招き、後期は鈴木設矢先生と花田真也の講演を行ってきました。今秋は中止となりましたが、来年度も継続して行う予定です。

床矯正基本セミナー (半日)

開催地: 東京・大阪 講師: 田中幹久

スタッフが成長するためのセミナー。
口腔機能発達障害=Pre床矯正から矯正中→保定まで役に立つバイオセラピーツールや装置の調整、患者さんへの説明。来年開催予定。

床矯正フォローアップコース (半日)

開催地: 福岡 講師: 花田真也

今年4月は新型コロナウイルスの影響で中止になりました。7月以降は通常開催か、オンライン開催を予定しています。受講生に提出していただいた症例について解説し、類似症例を提示することで床矯正治療の診断、患者さんとのコミュニケーションを、学べます。(案内同封)

床矯正スタッフセミナー (6ヶ月3日間コース)

開催地: 福岡 講師: はなだ歯科クリニックスタッフ

スタンダードコース受講生医院スタッフ限定です。治療を始めるきっかけとなる床矯正相談、矯正検査、床矯正の経過を担当できるようになるためのコースです。
はなだ歯科クリニックの見学もセミナーに含まれます。

【今年度は満席。来年募集予定。】

床矯正サミット (1日)

2020年8月30日(日) 開催地: 福岡

会員の院長、医院スタッフに床矯正に関する医院での取り組み、体験談などを話していただきます。
今年は院長2名と勤務医1名、衛生士2名に発表していただく予定です。現在参加者募集中。(案内同封)

事務局連絡

床矯正研究会の法人化について

令和2年1月22日に「一般社団法人日本床矯正研究会」を設立いたしました。

当法人は、歯科矯正、中でも床矯正治療に関する研究、および関係分野との交流の促進を図り、歯列矯正学の進歩普及に貢献し、もって国民の医療、保健、福祉の発展に寄与することを目的として次の事業を行う。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 学術集会、教育研修会の開催 | 5. その他の床矯正治療に関するコ・メディカルの育成及び認定 |
| 2. 学会誌、図書等の発行 | 6. 国内外の諸団体との協力と連携 |
| 3. 優秀な業績の表彰 | 7. 国際協力の推進 |
| 4. 床矯正認定医及び研修施設の認定 | 8. その他当法人の目的を達成するために必要な事業 |

法人化前は研究会の事務局はオーラルアカデミーが担っていましたが、法人化に伴い日本床矯正研究会事務局が行います。オーラルアカデミーは製品紹介、セミナー展示などを行います。



一般社団法人日本床矯正研究会の事務局の紹介

TAKA株式会社内で業務を行っております。

ご不明点がございましたら事務局担当 三澤までお気軽にお申し付けください。

「一般社団法人日本床矯正研究会」のHPを新しく作成しています。

HP <https://www.jsro.jp> こちらからは是非ご覧ください。



HP上の会員情報(住所・電話番号等)に相違がある場合は
✉ member@jsro.jp こちらまでご連絡ください。

一般社団法人 日本床矯正研究会 会報
2020年6月30日発行 2020年第1号 通巻第1号
一般社団法人日本床矯正研究会は法人格を有する歯科医師の団体です

一般社団法人 日本床矯正研究会

〒165-0025 東京都中野区沼袋 4-27-15-2F

TEL/FAX: 03-6454-0433 メールアドレス: info@jsro.jp HP: <https://www.jsro.jp>